

環境経営レポート

2021年度

(活動期間 2021年1月～12月)



岡山ガスエネルギー株式会社

作成日 2022年2月15日

改訂日 2022年3月22日

目次

① 組織の概要	2 ページ
② 環境経営方針	4 ページ
③ 環境経営目標	5 ページ
④ 環境経営計画	7 ページ
⑤ 環境経営目標の実績	8 ページ
⑥ 環境負荷の実績	10 ページ
⑦ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	13 ページ
⑧ 次年度の環境経営計画	16 ページ
⑨ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	17 ページ
⑩ 代表者による総合評価と指示	19 ページ

①組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

岡山ガスエネルギー株式会社

代表者 代表取締役社長 白神 和幸

2. 所在地（対象事業所）

（本 社） 岡山市南区築港栄町 7 番地の 2 7

電話 086-262-8885 FAX 086-265-9300

（倉敷営業所） 倉敷市中央一丁目 2 7 番 2 0 号

電話 086-425-7788 FAX 086-425-7841

（東営業所） 赤磐市桜が丘西九丁目 24 番 1 号

電話 086-955-0807 FAX 086-955-0882

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 工務グループ 課長 亀井 正道

（連絡先）〒702-8053 岡山市南区築港栄町 7 番地の 2 7

事務局：亀井 正道

電 話：086-262-8885 FAX：086-265-9300

4. 事業内容（対象活動）

プロパンガス製造・供給・販売

ガス機器販売・修理

ガス配管工事

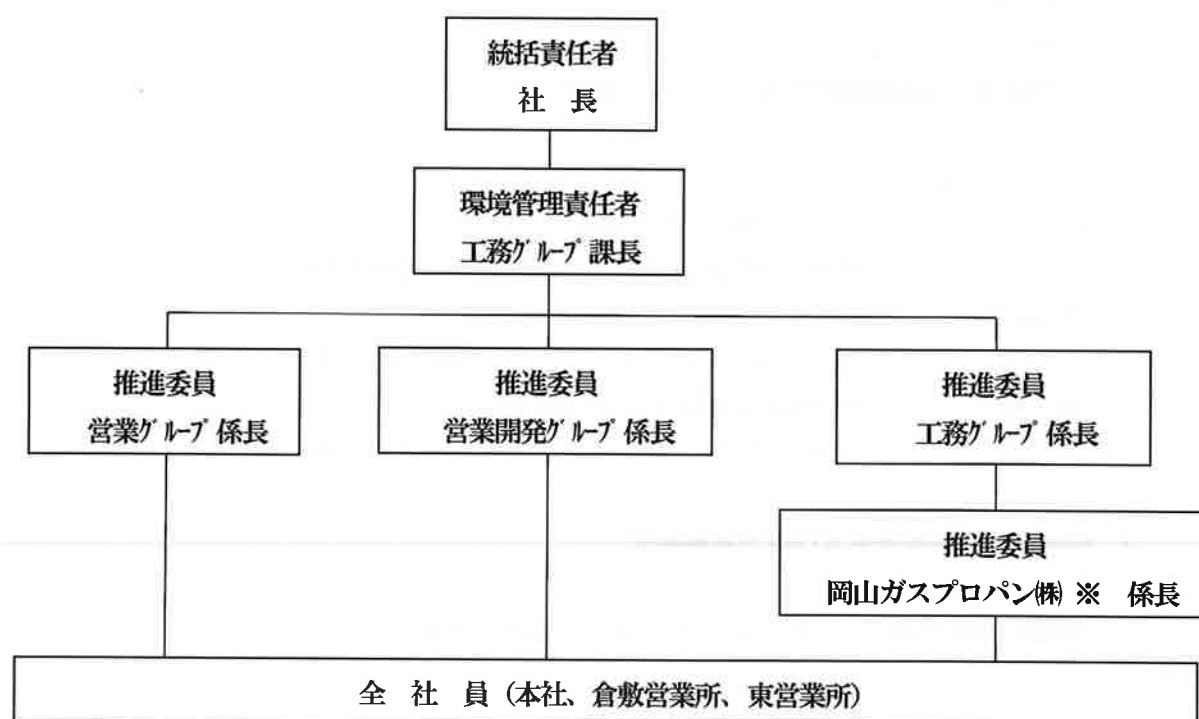
オートガス販売

5. 事業の規模

社員数 岡山ガスエネルギー 42 名

床面積 1303.75 m²

6. 組織図及び実施体制図及び役割・責任・権限表



※関連子会社

責 任 者	役 割・責 任・権 限
社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人・物・金・情報の用意 - 環境管理責任者の任命 - E A21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境経営システムの構築、運用状況の社長への報告 - 環境経営レポートの作成
推進委員会	- 環境活動計画の審議 - 環境活動実績の確認、評価
各グループの環境管理推進委員	- 自部門における環境方針の周知 - 自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する - 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施 - 自部門の従業員に対する環境教育の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

②環境経営方針

環境経営方針

当社は企業理念に基づき、プロパンガス事業において「地球環境を守ろう」をスローガンに自ら責任を持ち、全社員あがて環境負荷低減に配慮した活動を継続的に取り組むため以下の「環境経営方針」を定めます。

1. 省資源・省エネルギー活動

事業所内の整理・整頓・清掃・清潔に留意し、電力・紙・水等の資源・石油エネルギーの使用量の削減等環境負荷低減に努めます。

2. リサイクル活動による省資源化の推進

省資源活動の一つとして、リサイクル品等の使用を推進します。

3. 廃棄物の削減・分別処理

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。

4. 高効率ガス機器の普及促進

エコジョーズ・エネファーム等の省エネルギー型ガス機器の販売促進により環境負荷の低減に努めます。

5. グリーン購入の推進

グリーン購入を積極的に推進し、循環型社会の形成に貢献します。

6. 法の遵守と周知

環境経営活動を推進するに当り関連する法律等の遵守と社員への周知を徹底します。

2021年4月1日

岡山ガスエネルギー株式会社

代表取締役社長 白神 和幸

③環境経営目標

(1) 環境経営目標

環境負荷（CO₂、廃棄物、排水量）について、前年度比でLPG単位販売量1t当たりの原単位で毎年1%ずつ削減する。2021年度は前期中長期目標設定期間（3年間）の最終年度に当たる。

表-1に2021年度実績を基準値とした次期（2022～2024年度）中長期環境目標を示す。目標期間については3年間固定とする。なお、化学物質の使用はないため、使用量の目標設定はしない。

表-1 2022～2024年度中長期環境経営目標

		2021年度 目標	2021年度 実績（基準値）	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
CO ₂ 排出量	kg/LPG 単位販売量	28.30	28.69	28.40	28.12	27.84
廃棄物 排出量	kg/LPG 単位販売量	3.50	2.86	2.83	2.80	2.77
排水量	m ³ /LPG 単位販売量	0.089	0.066	0.065	0.064	0.063

※2021年度の電力二酸化炭素排出係数：0.521kg-CO₂/kWh、中国電力(株)、令和2年度調整後排出係数

※廃棄物は産業廃棄物及び一般廃棄物の合算値

- (2) 高効率ガス機器販売による環境改善として環境経営負荷（CO₂排出量）について、排出削減量を前年度比で毎年1%ずつ増加させる。

表-2に2021年度実績を基準値とした2022～2024年度以降の環境改善目標を示す。目標期間については3年間固定とする。

表-2 2022～2024年度の環境改善目標

	2021年度 目標	2021年度 実績（基準値）	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
CO ₂ 排出削減量（kg-CO ₂ /年）	178,204	157,726	159,303	160,896	162,505

（参考）2022～2024年度CO₂削減量目標の内訳

	2021年度 目標	2021年度実績 (基準値)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
エコジョーズ (削減量 257 kg-CO ₂ /台/年)	522 台	468 台	475 台	481 台	487 台
ハイブリッド給湯器 (削減量 690 kg-CO ₂ /台/年)	33 台	35 台	35 台	35 台	35 台
エネファーム (削減量 1,330 kg-CO ₂ /台/年)	16 台	10 台	10 台	10 台	10 台

※エコジョーズ、ハイブリッド給湯器の年間削減量は、メーカーの公表数字による。

エネファームの年間削減量は、燃料電池普及促進協会HPによる。

■高効率ガス機器

エコジョーズ



少ないガス量で効率よくお湯を沸かす省エネ性の高い給湯器です

ハイブリッド給湯器



お湯をガスや電気でお湯を沸かす仕組みの給湯器です

エネファーム



電気をつくり、お湯も同時に作り出す家庭用燃料電池です

- (3) 集中監視システム（NCU：Network Control Unit）の装置設置拡大による環境改善
保安の高度化・検針省力化・配送効率化により環境影響の予防、環境経営負荷削減及び安定供給、供給エリアの拡大の為、集中監視システム装置の設置拡大を目指す。

表-3 に 2022～2024 年度の環境改善目標を示す。目標期間については3年間固定とする。

表-3 2022～2024 年度の環境改善目標

	2021 年度目標	2021 年度実績 (基準値)	2022 年度目標	2023 年度目標	2024 年度目標
NCU設置率	56%	60%	65 %	71%	77 %

■NCU 機器



子機（ガスメーターのそばに設置）

■接続構成イメージ



・集中監視システムとは

ご家庭と当社を通信回線で結んで、24 時間 365 日ガスの安全を見守ります。

ガスをうっかり消し忘れた場合などは、自動的にガスが遮断され当社へ通報します。

また、ガスの残量自動通報機能の確認と、お客様のご利用状況に応じてガスをお届けします。

④環境経営計画（2021年度）

1. 主要な環境経営計画の内容

(1) 環境経営目標を達成するための取組

1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）

① エコドライブによる給油量の削減

- ・不要なアイドリングをしない、急ハンドルを切らない、空吹かしをしない、無理な追越しをしない、スムーズに加速・減速する等、注意深い運転を行う

② 空調温度の冷房は28℃以上、暖房は20℃以下とする

③ クールビズ・ウォームビズの実施

④ 昼休み及び宿直時間は、電話受付者等の必要場所を除き消灯を徹底する

⑤ 効率的な配送・訪問ルートを選定し走行距離の削減を図る

- ・バルク充填、容器配送、お客さま訪問は、ルートや時間帯を調整し走行時間を短縮させる
- ・NCUの設置を促進し、効率的な配送を行う

⑥ エコマーク商品の購入（グリーン購入）

⑦ 事務所照明のLEDへの更新（2月）

2) 廃棄物排出量（リサイクルに関する取組）

① 再利用・再生率を上げ削減に努める

- ・廃棄置場での細分化を徹底
- ・取外したガスメーター及び調整器の中で満期期限が半分以上残っているものは再利用する

② ペーパーレスの推進

- ・社内メールの活用
- ・両面コピーの推進
- ・不要用紙の裏面再利用
- ・カラーコピー機の認証カード化によるミスコピーの防止

③ 道路掘削を伴う取替え及び修繕工事の埋め戻しの際には、掘削土をできるだけ多く使用し、環境負荷の低減に努める

3) 水使用量（節水の取組）

① こまめな節水

② 毎月の使用量を過去使用量と比較し漏水の有無を確認する

4) 省エネ型ガス機器（エネファーム・エコジョーズ等）の販売促進

① ハウスメーカーへのPR

② お客さまへのPR

(2) その他の取り組み

1) 社員の環境への意識高揚のための定期的な指導

2) 回収機器の資源化向上に向けメーカーへ分別回収しやすい製品製作の申し入れ

3) 集中監視システムNCUの拡大（設置率の向上）させることにより、保安の確保、合理化、省力化を図る

4) 地域の一斉清掃への参加などの社会貢献活動の実施

営業開発部門 (推進委員： 営業開発グループ 係長)	工務部門 (推進委員： 工務グループ 係長)	営業部門 (推進委員： 営業グループ 係長)	岡山ガスプロパン部門 (推進委員： 岡山ガスプロパン(株) 係長)
☆CO ₂ 削減のためのガス機器販売 ①高効率給湯器の販売促進 ②家庭用燃料電池販売 ③化石燃料削減 ④社会貢献活動	☆リサイクル品の活用及び廃棄物の削減・分別処理 ①再使用可能な撤去品の使用 ②期限有ガスメーターの再使用 ③ゴミの分別処理の徹底 ④化石燃料削減 ⑤NCUの拡大	☆省資源・省エネルギーの推進 ①節水・節電・紙消費量の削減 ②グリーン購入UPの推進	☆岡山ガスプロパン(株)における環境活動の推進 ①節水・節電・紙消費量の削減 ②化石燃料削減 ③再使用可能な撤去品の使用 ④ゴミの分別処理の徹底

⑤環境経営目標の実績

(1) 環境経営目標に対する実績

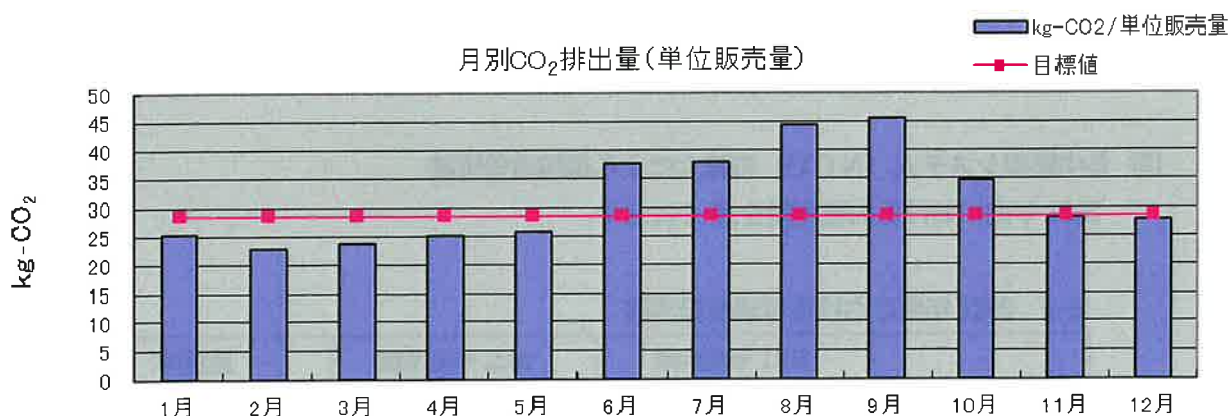
2021 年度における取組実績を表-4 に示す

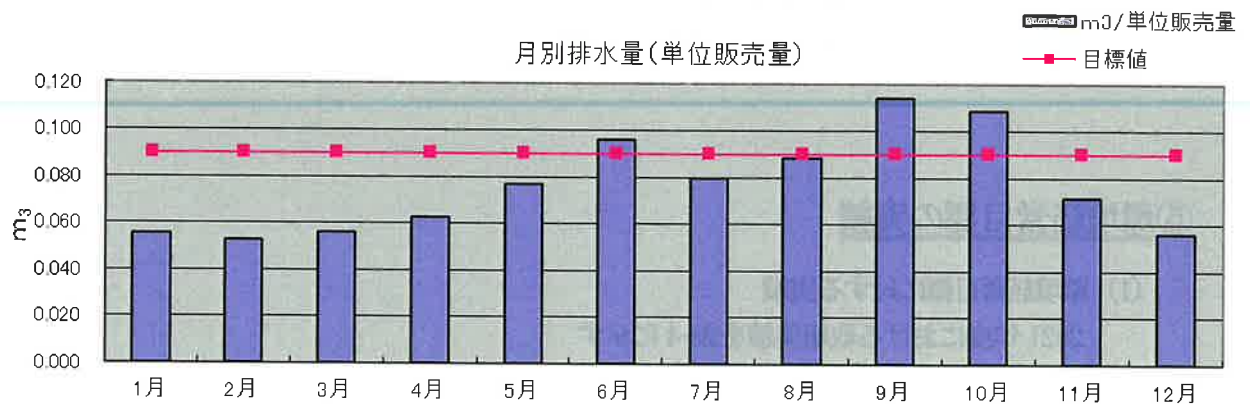
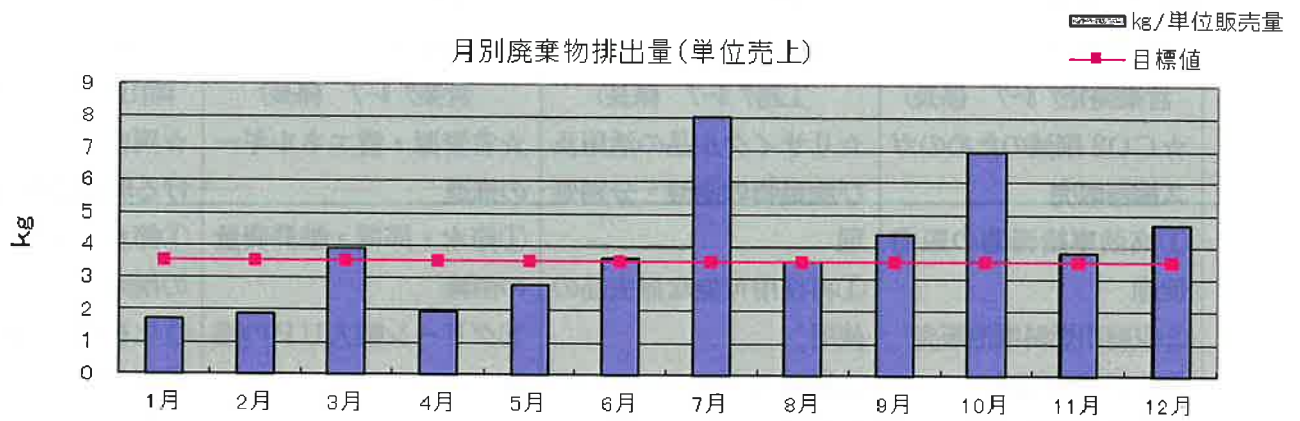
表-4 2021 年度における環境経営負荷取組実績

		2021 年度目標	2021 年度実績	達成率
CO ₂ 排出量	(総量) kg-CO ₂ /年	—	354,740	—
	kg/LPG 単位販売量	28.30	28.69	98.6 %
廃棄物排出量	(総量) kg/年	—	35,394	—
	kg/LPG 単位販売量	3.50	2.86	122.3 %
排水量	(総量) m ³ /年	—	812	—
	m ³ /LPG 単位販売量	0.089	0.066	134.8 %

単位 LPG 販売量：1 t 当たり

《2021 年度の月別の状況》





(2) 高効率ガス機器の販売による環境改善実績
2021 年度における取組実績を表-5 に示す

表-5 2021 年度における環境改善実績

	2021 年度目標	2021 年度実績	達成率
CO ₂ 排出削減量	178,204 kg-CO ₂ /年	157,726 kg-CO ₂ /年	88.5 %

(参考) 2021 年度の高効率ガス機器の販売台数内訳

	2021 年度目標	2021 年度実績
エコジョーズ (削減量 257 kg-CO ₂ /台/年)	522 台	468 台
ハイブリッド給湯器 (削減量 690 kg-CO ₂ /台/年)	33 台	35 台
エネファーム (削減量 1,330 kg-CO ₂ /台/年)	16 台	10 台

(3) 集中監視システム (NCU) の拡大による環境改善実績
2021 年度における取組実績を表-6 に示す

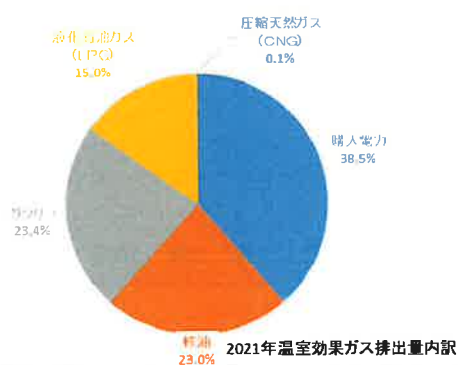
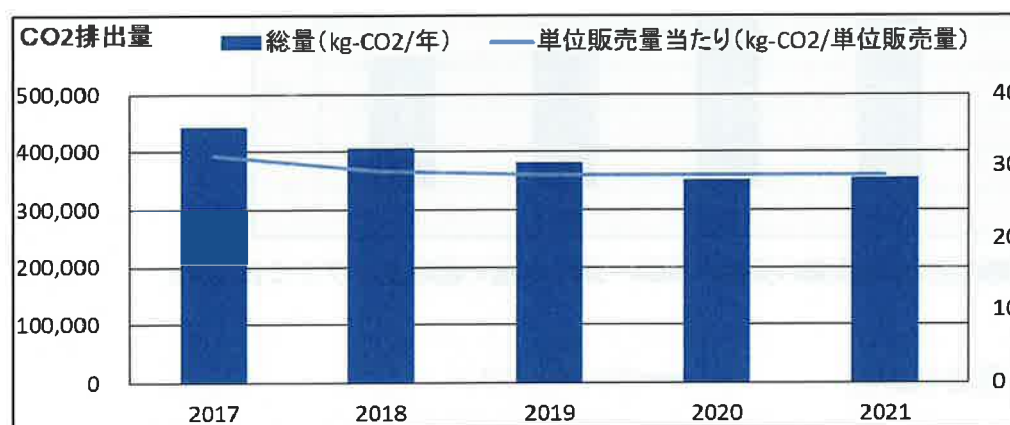
表-6 2021 年度における環境改善実績

	2021 年度目標	2021 年度実績	達成率
NCU 設置率	56%	60%	107.1 %

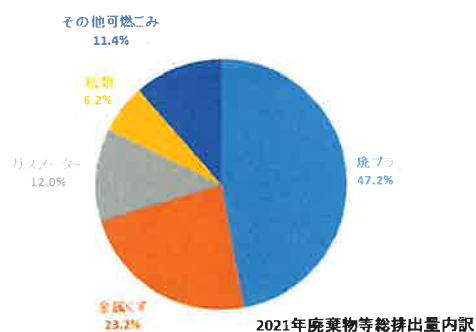
⑥環境負荷の実績

(1) 環境負荷の実績 (CO₂、廃棄物 (一般廃棄物を含む)、排水量) の2017～2021年度の推移とその内訳をグラフ-1～3に示す。

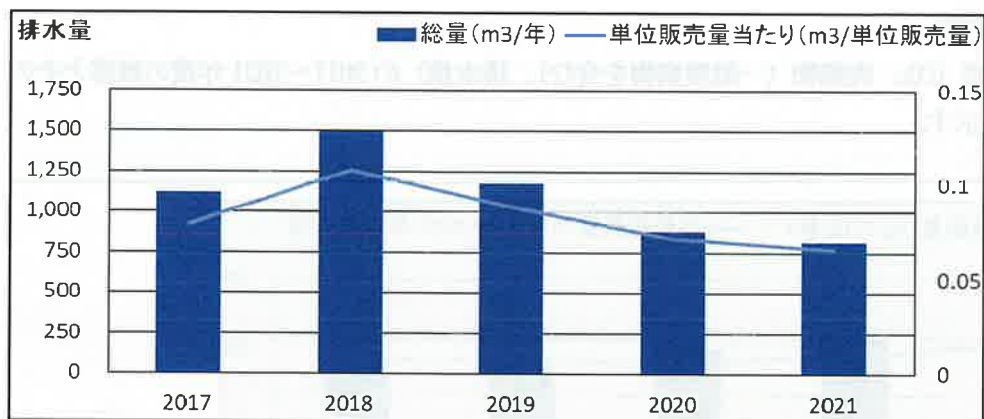
グラフ-1



グラフ-2

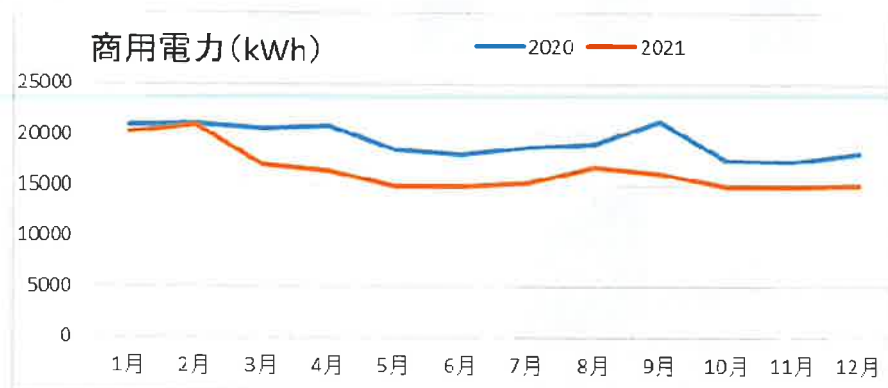


グラフ-3

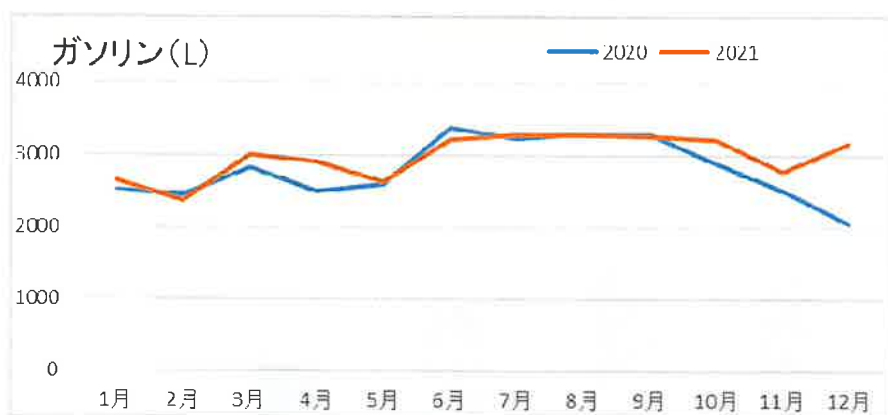


(2) エネルギー消費状況及び排水量の実績の2020～2021年度の推移をグラフ-2に示す。

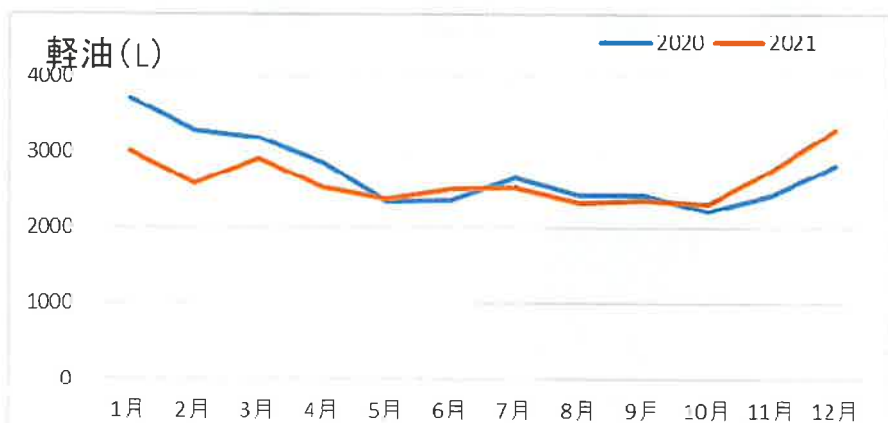
グラフ-2



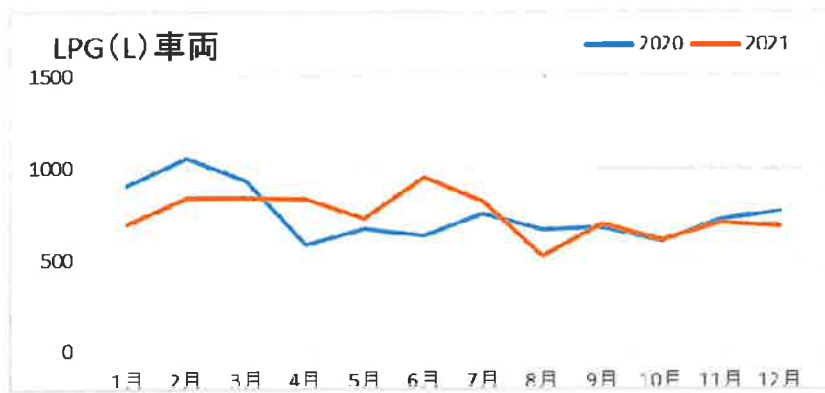
・14.8%減少



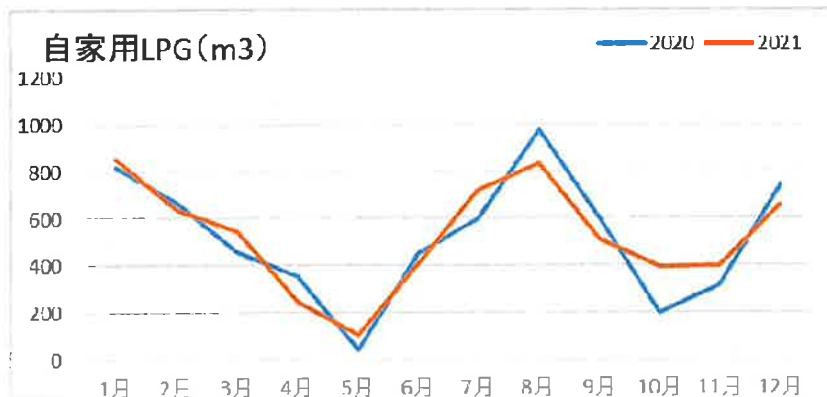
・6.6%増加



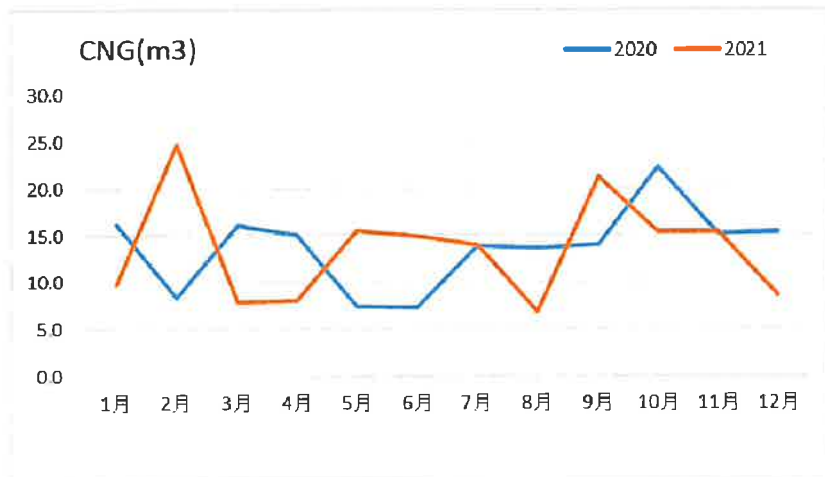
・3.8%減少



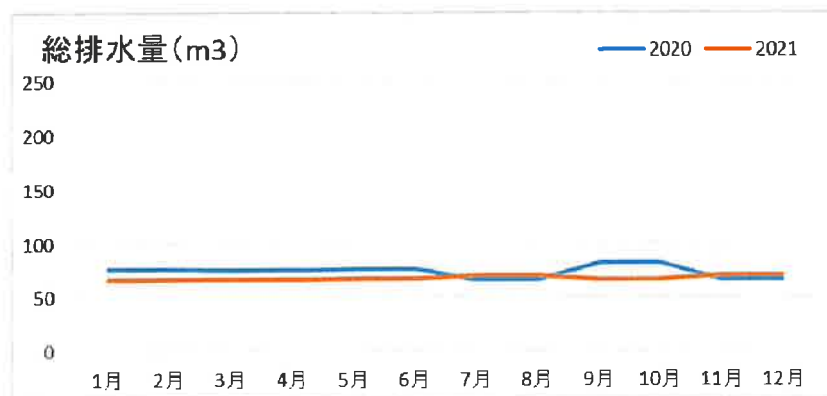
• 0.5%減少



• 1.5%増加



• 1.3%減少



• 8.2%減少

⑦環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【評価】

(1) 環境経営目標を達成するための取組み

1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）

LPG 単位販売量の二酸化炭素排出量については、目標達成率は98.6%となり達成できませんでした。その中で、車両の燃料についてはガソリンが6.6%増加しました。LPガスの供給エリアの拡大による移動距離の増加と、LPG車をガソリン車に1台変更したことが主な原因と思われます。一方で軽油は3.8%減少しました。LPガスメーターの情報を提供するサービスを活用してガス残量を正確に把握し、効率的な配送ができたことによると思います。引き続き、効率的な配送と急発進や急加速等を避けたエコドライブを推奨し車両の燃料削減に努めて参ります。

電力使用量は前年度と比較して、14.8%減少しました。オートガススタンドの稼働率の減少が主な要因ですが、事務所の照明をLEDに更新したことによる効果も大きかったと思います。その結果、全体の電力使用量が削減でき、CO2 排出量の削減に繋がったと思います。今後もしばらくは新型コロナウイルスの影響が続きそうですが、クールビズ・ウォームビズ、不要な照明の消灯の徹底等により電力量の削減に努めて参ります。

2) 廃棄物排出量（リサイクルに関する取組み）

LPG 単位販売量の廃棄物排出量についての目標達成率は122.3%となり達成できました。廃棄調整器や廃棄ガス警報器の数が減少したことにより、金属くずは14.4%、廃プラスチックが33.1%減少しました。また、廃棄ガスメーターも22.0%減少しており、満期ガスメーターの取替数が前年度よりも少なかったことが影響したと思われます。今後は膜式よりもコンパクトな超音波式ガスメーターの採用を増やすことにより、廃棄ガスメーターの排出量をさらに減少させていく予定です。次年度は企業活動も少し回復し、廃棄物の増加が予想されますが、出来る限り廃棄物の削減に努めていきたいと思っています。

3) 水使用量（節水の取組み）

LPG 単位販売量の水使用量については、全員で節水に努め、毎月水道メーターを検針することによる漏水のチェック等をおこなった効果もあり、目標達成率は134.8%となり達成できました。今年度も設備の維持管理を徹底し、月々の使用量を前年度と比較し増減を把握しながら全員で節水に努めて参ります。

4) 省エネ型ガス機器（エネファーム・エコジョーズ等）の販売促進

エコジョーズ・ハイブリッド給湯器・エネファームの省エネ型ガス機器の販売目標台数については、ハイブリッド給湯器は目標達成できましたが、エコジョーズとエネファームは目標達成できませんでした。その結果、機器の販売促進によるCO2 排出削減量としては目標達成率88.5%となり達成できませんでした。エネファームの販売の伸び悩みと新型コロナウイルスによる営業活動自粛の影響が主な原因と思われます。今後については従来通りLPガスのメリットを積極的にアピールし販売促進をより推し進め、環境負荷の低減に努めて参ります。

す。

(2) その他の取組み

1) 社員への環境経営目標達成のための定期的な指導

事務局を中心にして、各部門の推進委員と定期的な会議（6回/年）を開催し、全体朝礼（毎月開催）にて社員に進捗状況を説明しました。未達項目に対しては原因を分析し具体的な指導を行いました。また不十分な点があったと思います。次年度は、より効果的な具体策を決定する会議とし、進捗状況を確認しながら進めて参ります。

2) 回収機器の資源化向上に向けメーカーへ分別回収しやすい製品製作の申し入れ

2021年度は、特にメーカーへの申し入れはできませんでしたが、今後も継続して推進委員会で検討していきます。また次年度は、より分別しやすいように廃棄置き場の見直しを行って参ります。

3) 道路掘削を伴う取替え及び修繕工事の埋め戻しの際には、掘削土をできるだけ多く使用し、環境負荷の低減に努める

2021年度は、若宮団地、瀬戸グリーンハイツにおいて計650mの道路掘削を伴う取替え工事を行いました。その際、配管の周囲には保護砂を入れ掘削土にて埋め戻しを行いました。次年度は取替え工事をおこなう際にガス管の埋設と撤去を同時施工することにより掘削土量の削減を図って参ります。

4) 集中監視システム（NCU）を拡大させることにより、保安の確保、合理化、省力化を図る

集中監視システムは、配送効率の向上、検針業務の合理化等による車両の燃料の削減を図ることもできる有力なシステムとなります。NCUの設置率向上については、目標の56%に対して60%となり達成できました。今後もIoT技術を活用したシステムを積極的に推し進めて参ります。

5) グリーン購入

グリーン購入については、エコマーク商品を18品目採用しました。今後も積極的に採用を推進し、グリーン購入の商品を選定し、循環型社会の形成に貢献して参ります。

6) 社会貢献活動

2021年度は、コロナ禍で地域の盆踊りが中止となり参加できませんでしたが、10月には旭川一斉清掃へ参加し、9月には岡山市の指定避難場所としての避難誘導訓練を実施しました。今後も積極的に社会貢献活動を実施して参ります。

表-7 環境経営計画の取組結果、評価

目 標	実 施 項 目	年 間 実 績	評 価
二酸化炭素削減	エコドライブによる給油量の削減	○	適切
	空調温度の冷房は 28℃以上、暖房は 20℃以下とする	○	適切
	クールビズ・ウォームビズの実施	○	適切
	昼休みは消灯する	○	適切
	配送・訪問ルートを見直し走行距離の削減	○	適切
	エコマーク商品の購入（グリーン購入）	○	適切
	事務所の照明の LED への更新	○	適切
廃棄物削減	分別を徹底し、再利用・再生率を上げ、削減に努める	△	発生材の再利用のさらなる促進が必要
	ペーパーレスの推進	○	適切
	掘削土をできるだけ多く使用し、環境負荷の低減に努める	△	環境に配慮した工法を選択する
水使用量削減	こまめな節水	○	適切
	毎月の検針による使用量チェック	○	適切
省エネ機器販売	省エネ型ガス機器のハウスメーカーへのPR	△	コロナ禍の営業自粛により十分でない
	省エネ型ガス機器のお客さまへのPR	△	コロナ禍の営業自粛により十分でない
その他の取組	社員の環境への意識高揚のための定期的な指導	○	適切
	回収機器の資源化向上に向けメーカーへ分別回収しやすい製品製作の申し入れ	×	今年度はメーカーへの申し入れはできなかったが、今後も継続して推進委員会で検討し、メーカーへ申し入れを行う
	集中監視システムNCUの拡大	○	適切
	社会貢献活動	○	適切

※ ○ 良 △ 可 × 不十分

⑧次年度の環境経営計画（2022年度）

1. 主要な環境経営計画の内容

(1) 環境経営目標を達成するための取組

1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）

① エコドライブによる給油量の削減

- ・不要なアイドリングをしない、急ハンドルを切らない、空吹かしをしない、無理な追越しをしない、スムーズに加速・減速する等、注意深い運転を行う

② 空調温度の冷房は28℃以上、暖房は20℃以下とする

③ クールビズ・ウォームビズの実施

④ 昼休み及び宿直時間は、電話受付者等の必要場所を除き消灯を徹底する

⑤ 効率的な配送・訪問ルートを選定し走行距離の削減を図る

- ・バルク充填、容器配送、お客さま訪問は、ルートや時間帯を調整し走行時間を短縮させる
- ・NCUの設置を促進し、効率的な配送を行う

⑥ エコマーク商品の購入（グリーン購入）

2) 廃棄物排出量（リサイクルに関する取組）

① 再利用・再生率を上げ削減に努める

- ・廃棄置場での細分化を徹底
- ・取外したガスメーター及び調整器の中で満期期限が半分以上残っているものは再利用する

② ペーパーレスの推進

- ・社内メールの活用
- ・両面コピーの推進
- ・不要用紙の裏面再利用
- ・カラーコピー機の認証カード化によるミスコピーの防止

③ 道路掘削を伴う取替え及び修繕工事の埋め戻しの際には掘削土をできるだけ多く使用し、取替え工事の際にはガスの埋設と撤去を同時施工することにより掘削土量の削減を図り、環境負荷の低減に努める

3) 水使用量（節水の取組）

① こまめな節水、水の出しっ放しのチェック

② 毎月の使用量を過去使用量と比較し漏水の有無を確認する

4) 省エネ型ガス機器（エネファーム・エコジョーズ等）の販売促進

① ハウスメーカーへのPR

② お客さまへのPR

(2) その他の取り組み

1) 社員の環境への意識高揚のための定期的な指導

2) 回収機器の資源化向上に向けメーカーへ分別回収しやすい製品製作の申し入れ

3) 集中監視システムNCUの拡大（設置率の向上）させることにより、保安の確保、合理化、省力化を図る

4) 地域の一斉清掃への参加などの社会貢献活動の実施

⑨環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

表-8 に環境関連法規への違反の有無を示す。

表-8 環境関連法規への違反の有無

関 連 法 規		遵守すべき事項	結果
廃棄物処理法	産業廃棄物処理委託契約	産業廃棄物・一般廃棄物を排出する排出事業者は、処理を他人に委託する際、処理を行う処理業者と事前に産業廃棄物の処理委託に関する契約を締結する。	適合
	一般廃棄物処理委託契約		
	産業廃棄物マニフェスト	排出事業者が産業廃棄物の処理を業者に委託する場合は、マニフェストを交付し、5年間保存することが義務付けられている。産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付した排出事業者(中間処理業者を含む)は廃棄物処理法第12条の3第7項に基づき、事業場ごとに前年度1年間の交付等の状況(産業廃棄物の種類及び排出量、マニフェストの交付枚数等)について、都道府県知事への報告が必要。	適合
	委託基準	産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合には、その運搬については都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物収集運搬業者等に、その処分については都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処分業者等にそれぞれ委託すること。	適合
	産業廃棄物に係る最終処分の確認	一定期間内に、委託した産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処分業者から、処理終了に係る管理票の写しの送付を受けること。一定期間内に処理終了の管理票の写しの送付を受けていない場合、虚偽記載等がされている場合及び処理困難通知を受けた場合については、排出事業者責任に基づき、速やかに委託した産業廃棄物の処理状況を把握するとともに、都道府県知事に報告し、必要な措置を講じること。	適合
	産業廃棄物保管基準	保管場所の管理、掲示板設置。	適合
高圧ガス保安法	高圧ガス保安法施行令	高圧ガスによる災害を防止するため、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、輸入、移動、消費、廃棄等を規制	適合
	液化石油ガス保安規則	液化石油ガスに関する保安について規定	適合
	容器保安規則	高圧ガス保安法及び高圧ガス保安法施行令に基づいて、高圧ガスを充てんするための容器であって地盤面に対して移動することができるものに関する保安について規定	適合
液化石油ガス法	施行令・施行規則	一般消費者等に対する液化石油ガスの販売、液化石油ガス器具等の製造及び販売等を規制	適合
ガス事業法	施行令・施行規則	小売ガス事業の保安について規定	適合
	ガス工作物の技術上の基準を定める省令		

消防法	圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱いの届出	圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある物質で政令で定めるものを貯蔵し、又は取り扱う者は、あらかじめ、その旨を所轄消防長又は消防署長に届け出なければならない。	適合
フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理者が講ずべき措置	第一種特定製品の管理者は、国が定める「第一種特定製品の管理者の判断の基準」に従い管理する。 第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全、簡易点検・定期点検、漏えいや故障等が確認された場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止、点検・整備の記録作成・保存等を行うことを通じ、使用時におけるフロン類の漏えい防止に取り組む。	適合

当社は環境問題に関し法令違反はありませんでした。また関係機関、利害関係者等からの指摘・訴訟も過去5年間ありませんでした。今後も引き続き環境関連法令を理解、遵守したうえで環境理念に従い、事業活動を実施します。

⑪ 代表者による総合評価と指示

代表者による総合評価と指示	
	2022年2月1日
環境管理責任者報告事項	代表者評価
1. 環境経営方針について	
「②環境経営方針」について確認。	特に是正処置の必要はなし。現状の継続でよい。
2. 実施体制について	
「①組織の概要 6.実施体制図及び役割・責任・権限表」により確認。特に是正処置の必要はなし。	現状の維持・継続でよいが、必要に応じ見直しをおこなうこと。
3. 環境経営目標の達成状況	
「⑤環境経営目標の実績」により達成状況を説明。特に是正処置の必要はなし。	一部目標未達の項目があったが、事務局を中心とした取り組みについては評価する。次年度も引き続き事務局を中心とし、全職員が環境経営計画について理解し目標達成に向かうこと。
4. 環境経営計画の実施状況	
「⑦環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容」により説明。ほぼ計画通りにできている。	集中監視システムの設置促進による効率的な配送、検針業務の実施については評価に値する。次年度もコロナ禍により不安定な状況が予想されるが、全員参加の取り組みによる目標達成に期待する。
5. 環境関連法規の遵守状況	
「⑨環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無」により説明。すべて遵守できている。	環境関連の業務に関する社会的要求は一層高まっていることを念頭におき、常に最新を入手し管理すること。
6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定	
「⑧次年度の環境経営計画」により説明。小改善を含めた現状の維持・継続とする。	現状の維持・継続でよいが、活動を後退させないように環境経営活動に対する社員への理解、意識の向上に努めること。
変更の必要性の指示	
1. 環境経営方針	特に変更なし
2. 実施体制	特に変更なし
3. 環境経営目標	環境負荷について LPG 販売量 1t 当りの排出量を目標として3か年目標を立てる
4. 環境経営計画	現状の維持・継続でよいが、状況の変化に応じた改善を重ねること
5. 環境経営システム	特に変更なし